

経済安全保障重要技術育成プログラムに係る
研究開発ビジョン検討ワーキンググループ
(バイオ領域)

研究開発ビジョン検討ワーキンググループ（バイオ領域）開催実績

- 9月11日（水）：第14回研究開発ビジョン検討ワーキンググループ（バイオ領域）を開催
議事「バイオ領域における重要技術について」

「研究開発ビジョン検討ワーキンググループ（バイオ領域）」

(委員)

松本 洋一郎（主査） 外務大臣科学技術顧問、東京大学名誉教授

金田 安史 大阪大学理事・副学長

山岡 建夫 日本航空宇宙工業会常務理事

(専門委員)

篠崎 一雄 理化学研究所栄誉研究員・名誉研究員

菅 裕明 総合科学技術・イノベーション会議議員（非常勤）

第14回研究開発ビジョン検討ワーキンググループ（バイオ領域）における議事のポイント

支援対象とすべき技術への追加に関して

- 「個別の課題認識と考えられる技術の例」や「考えられる技術の発展性について（イメージ）」について、**概ね妥当**ではないか。
- 国内で既に進められている研究開発に関して、その実施内容や成果について整理し、**関連する事業との連携や成果の活用を図ること**により、我が国の優位性を活かしたテーマに対し重点的な支援となるよう検討すべき。これにより、本研究開発の成果が、新たな産業の創出を含めた国力増強に繋がっていくことが重要。
- 施肥量低減による環境負荷軽減に繋がるものであり、**省肥料化技術**が持続可能な農業へ貢献することを期待する。
- 微生物群と植物の相互関係の改変の効果は、検証に際し植物の生育期間を考慮する必要があり、**十分な研究期間が確保されることが望ましい**。また、シミュレーションとの適切な組み合わせによる検証を行うことで、効果的・効率的な研究開発となることを期待する。

その他（人材育成など）

- 植物、微生物、土壌微生物叢の相互作用のメカニズムは未解明の分野であり、研究開発の実施にあたっては、**分野横断的な知見**を持って、課題解決に取り組むことが出来る人材が必要。その際、**植物、微生物等の異分野間の研究者の協力**により、新たな研究分野の創出・発展、人材育成に繋がることを期待する。